

| | | | | | | | | |
|--|--|------|------|--|-------------------|-------------|-----|------------|
| 授業科目 | 子育て支援 | | | | 単位 | 1 | | |
| 履 修 | 選択 | 関連資格 | 保育士 | | ナンバリング | CH21313J | | |
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 前期 | 該当DP | DP3-2 DP4-1 DP5-3 | | | |
| 担当教員 | 鬼塚 香 | | | | | | | |
| 授業概要 | 子育てに関する相談支援の場や対象はさまざまである。保護者や地域の子育てに対して、保育士は専門性を活かしつつ支援していく。本授業では、事例等を用いグループワークやロールプレイに取り組みながら、その内容や方法を学ぶ。 | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | 1.保育士が相談支援を学ぶ意義について理解できる。 2.相談支援の概要や技術について説明できる。 3.相談支援の具体的展開が理解できる。 4.保育場面における相談支援の具体的方法を検討することができる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 0 | 0 | 30 | 35 | 0 | 35 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | 10 | 15 | | 15 | 40 | |
| 態度(DP4-1) | | | 10 | 10 | | 10 | 30 | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | 10 | 10 | | 10 | 30 | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 保育士が相談支援を学ぶ意義について十分に理解したうえで、他者に対して相談支援の内容や方法を正確に説明することができる。 相談支援で学んだ知識をもとに、さまざまな状況下におけるソーシャルワーク的視点や方法を活用した保育実践の展開を考え出すことができる。 | | | | 保育士が相談支援を学ぶ意義について理解したうえで、その内容や方法を説明することができる。 相談支援の展開過程に基づき、保育場面における相談支援についての具体的方法を検討することができる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | | | 授業の運営方法 | | 学習課題(予習・復習) | | 予習・復習時間(分) |

| | | | | |
|----|---|-------------------------|----------------------------------|----|
| 1 | オリエンテーション →子育てをめぐる現状を知り、なぜ保育士が相談支援を行うのか学ぶ。これからの授業の進め方を確認する。 | 講義 グループワーク | 予習:なし 復習:該当箇所を見直す | 30 |
| 2 | 保育士の専門性 →保育士の専門性を再確認し、子育てに関する相談支援を行う際に、それを具体的にどのように生かすのか学ぶ。 | 講義 グループワーク | 予習:保育士倫理綱領を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 3 | 相談支援 →保育士として相談支援をどのように展開するのかを学ぶ。また、保護者等との援助関係の築き方について学ぶ。 | 講義 グループワーク | 予習:バーステックの7原則を調べる 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 4 | 子育てに関するニーズ① →子育てをめぐる現状を確認し、保護者等が子育てに関してどのようなニーズを抱えているのか学ぶ | 講義 グループワーク | 予習:資料を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 5 | 子育てに関するニーズ② →保護者等と信頼関係を築き、子育てに関するニーズを聞き出す方法について学ぶ | 講義 グループワーク ロールプレイ | 予習:面接技法を確認する 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 6 | 情報の整理とアセスメント →聞いた話をどう整理するか、そのなかでニーズを見つける方法を学ぶ。 | 講義 グループワーク | 予習:事例を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 7 | 支援の計画 →明らかにしたニーズに対してどのような支援を行うか、計画する方法を学ぶ。 | 講義 グループワーク | 予習:事例を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 8 | 専門家等との連携・協働① →子育て支援を行う際に、職場内でどのような連携・協働を行うのかを学ぶ。 | 講義 グループワーク ロールプレイ | 予習:事例を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 9 | 専門家等との連携・協働② →子育て支援を行う際に活用できる社会資源を学ぶ。職場外の専門家等とどのような連携・協働を行うのか学ぶ。 | 講義 グループワーク ロールプレイ | 予習:社会資源を調べてみる 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 10 | 支援の実践 →支援の実行とモニタリング・カンファレンスについて学ぶ。 | 講義 グループワーク | 予習:事例を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 11 | 支援の評価と記録 →支援が適切に行われたか評価する方法、支援をどのように記録するか学ぶ。 | 講義 グループワーク | 予習:記録方法について確認する 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 12 | 子育て支援の実際① →保育所における子育て支援について事例をもとに考える。 | 講義 グループワーク ロールプレイ | 予習:事例を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 13 | 子育て支援の実際② →地域における子育て支援について事例をもとに考える。 | 講義 グループワーク ロールプレイ | 予習:事例を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 14 | 子育て支援の実際③ →特別なニーズをもつ家庭の子育て支援について事例をもとに考える。 | 講義 グループワーク ロールプレイ | 予習:事例を読む 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 15 | まとめ →14回の授業を振り返り、今後、保育士としてどのように子育てに関する相談支援を行うか考える。 | 講義 グループワーク | 予習:1~14回の授業の振り返り 復習:該当箇所を見直す | 60 |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |

| | | | | |
|-----------------------|--|--|--|--|
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 相談支援に関して今までの講義で学んできたことを復習しておくとともに、並行して行われる講義の内容も整理しておくことを勧める。(例えば、1年次後期の「社会福祉」や2年次前期の「こども家庭支援論」など) | | | |
| テキスト | なし | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 授業時に随時紹介する。 | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | この授業は、新しい知識を身につけるというより、今までの講義で学んできたことを実際にやってみることを中心にする。とはいえ、うまくできるかどうかではなく、やってみることで気づいたことや考えたことを大切にしながら、相談支援の技術を身につけていけるような授業を計画している。そのため、受講生にも簡単な予習と積極的な授業参加を期待する。 | | | |
| 達成度評価に関するコメント | <ul style="list-style-type: none"> ・レポート: 毎回授業終わりにリアクションペーパーに、感想・意見・質問等を記入する時間を設ける。そこから読み取れる理解度や取り組み状況を評価の対象とする。なお、内容についてのフィードバックを次の授業で行う。 ・発表: 授業中にグループワークやロールプレイを行い、事例を用いて実際に対応したり、自分の意見を発表してもらう。そこでの発表内容や取り組む姿勢を評価の対象とする。 ・その他: グループワークやロールプレイから学ぶためには、指定された予習や復習に取り組んでおくことが必要になる。そのため、予習や復習への取り組み状況を評価の対象とする。 | | | |

